

令和4年度 活動紹介票

団体名	特定非営利活動法人wiz	代表者 職・氏名	代表理事 中野 圭
住所	岩手県大船渡市三陸町越喜来字明神道24-2	電話	090-1931-5683

事業内容

助成区分		復興枠
事業名称		シビックプライドを育む、域外人材との協働・共創コーディネート事業
主な活動地域		岩手県大船渡市、陸前高田市、宮古市
取組概要	目的	被災地の復興に向けて事業・活動を実施する企業・団体(以下、事業者等)が域外人材を受け入れ、課題解決に向けて協働・共創する場の創出を通じて、被災者である社員や地域住民が被災地における暮らし・仕事に対する誇りや愛着を育むことを目的とする。
	内容	事業者等が持つ仮説の検証や試行錯誤が必要な課題をプロジェクトとして設計し、主に全国の大学生を参加対象とした実践型インターンシップのコーディネートを行った。 ＜夏期プログラム＞ 7月～8月：プログラム作成、周知・PR活動、マッチングサポート 8月～9月：実践型インターンシップ実施(7事業者、大学生13名が参画) 10月：事業者等との振り返り ＜春期プログラム＞ 10月～11月：プログラム作成 11月～1月：周知・PR活動、マッチングサポート 2月～3月：実践型インターンシップ実施(8事業者、大学生14名が参画) 3月：事業者等との振り返り 実践型インターンシップ実施期間中、インターン生と受入事業者等が参加する事前研修、中間研修、修了研修を行った。また、各期間の終盤にインターン生による成果報告会を公開実施し、合計44名の外部参加者に対して約2ヶ月間の活動成果を発表した。さらに本事業における初の試みとして、インターン生と地域住民等との交流企画を合計9回実施し、合計41名の地域住民等が参加した。
	成果 (将来計画)	・意欲的な域外人材との協働・共創をきっかけに、各事業者の社員や地域住民等の交流機会が生まれ、地域での暮らしや仕事に対する誇りと愛着を再認識することを推進できた。インターン生の顔と名前を覚えて、インターン生が企画したイベントに参加した高齢・独居状態の地域住民もいる。それがきっかけとなり住民同士の交流も生まれていることから、復興及び地方創生への主体的な参画や、地域一帯となったシビックプライドの醸成に寄与できたと感じる。 ・交流企画を通じて、これまで以上に多くの地域住民が域外人材と触れ合い、また地域のための取り組みを行なっている事業者等の認知を広げることができた。交流企画は域外人材が地域のファンとなったり、地域側が域外人材の受け入れを前向きに捉えるきっかけになったと考えており、今後継続的に、地域に対して開かれた場を作り出していきたい。 ・受入事業者等から、本事業の継続だけでなく、他の地域事業者等の参画を期待する声が上がっている。これは本事業の成果・効果が受入事業者等において実感されているだけでなく、より多くの若者を受け入れ、協働・共創する地域にしていきたいという想いがあるからこそその期待だと思われる。このような事業者等の想いが顕在化し、共有されたことは本事業の成果の一つであり、復興や被災者支援を後押しするだけでなく、さらなる関係人口の創出に向けた前進であると考ええる。
事業費(千円)		4,040千円(うち補助金3,635千円)

